作成日：2026 年 10 月 7 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

熱中症（重症度 III 度以上）における来院時血清ミオグロビンと急性腎障害および院内転帰の関連：単施設後方視的観察研究

１．研究の対象および研究対象期間

対象となる方は、2021 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までに昭和医科大学病院救命救急センターに救急搬送され、熱中症と診断された患者さんのうち、熱中症診療ガイドライン 2024 の重症度 III 度、qIV 度または IV 度に当てはまる方です。

２．研究目的・方法

熱中症が重症になると、腎臓の働きが低下することがあります。これは、高体温によって筋肉などの細胞が壊れ、その成分が血液中に流れ出すことが関係すると考えられています。

この研究では、熱中症の患者さんの血液検査の結果とその後の腎臓の働きや経過との関係を調べます。特にミオグロビンという筋肉に含まれるタンパク質に注目し、ミオグロビンがこれまで広く使われてきたクレアチンキナーゼという筋肉内の酵素よりも、腎臓の障害の程度や経過をよく表すかどうか調べることを目的としています。

この研究では、上記期間中に昭和医科大学病院へ搬送された熱中症患者さんのうち、重症度の高い方を対象に、来院時および入院期間中に行った血液検査の結果を用いて解析を行います。そのため、患者さんに新たに検査や処置をお願いすることはございません。

この研究によって、熱中症で運ばれた患者さんの中で、どのような方が腎臓の障害を起こしやすいかがわかり、今後の治療の改善につながることが期待されます。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、体重、来院された年と月、熱中症の重症度、発症したときの状況、搬送元、来院時の体温、意識の状態、発症から来院までのおおよその時間、来院時および入院中の血液検査の結果（来院時・入院中の腎臓・肝臓・筋肉・電解質に関する検査に加え、乳酸、アルブミン、総コレステロール、ビタミン B1、および入院前の腎臓の働きを示すクレアチニンの値を利用）、尿の量の変化、透析治療の有無、普段服用されているお薬の情報、腎臓の病気の既往、体を冷やす治療を行ったかどうかの情報、集中治療室に入っていた日数、退

院時の状況と転帰

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

６．研究組織

研究責任者　昭和医科大学　救急・災害医学講座　助教（医科）　須郷　加奈子

研究分担者　昭和医科大学　救急・災害医学講座　教授　土肥　謙二

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学　救急・災害医学講座　　氏名：須郷　加奈子

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8　　電話番号： 03-3784-8744